

## 1. 作業内容の説明（末国栄之助氏）

作業は、大注連縄作り、房作り、手ない小注連縄作り、の3種

## 2. 大注連縄は、舞殿で1組（数名）が師匠の指導下で作る。

注連縄師匠：貢 通総氏

資料-7の付表に同じ（大文字なので添付しない）

作る大注連縄は、6本で内訳は表のとおり。毛切りするのが3本ある。

大注連縄が1～2本できたら、祓い殿に持ち込み宮司からお祓いを受ける。

## 3. 房は大注連縄に取り付けるもので、計14個作る。

房作り師匠：末国征男氏

手縫いの小注連縄が間に合わなければ機械縄を使う。

## 4. 房取付け用の小注連縄を手で縫って作る。

師匠は、腕に覚えのある者

購入した機械縄を使うことにした。

長さは約1mで42本作る。

## 5. 作業が終了したら、あいさつの後で解散する。

資料-7の付表に同じ（大文字なので添付しない）

## 6. 本当屋は残って、各所用の小注連縄切り、大注連縄等の祓い殿搬入を行う。